

北海道開発局事業審議委員会（令和4年度第2回） 審議案件一覧

再評価理由	事業名	事業概要	事業期間		全体事業費 (億円)	進捗率 ※1	事業の効果等	費用便益比 全体 B/C	総費用	総便益	地方公共団体等の意見	対応方針 (案)	対応方針(案)決定の理由	備考
			事業化 年度	完了予定 年度										
社会経済情勢 等の変化	再~1 網走川直轄河川改修事業	平成27年9月に網走川水系河川整備計画を策定し、戦後最大規模である平成4年9月の洪水を安全に流すことを目標に、堤防、河道の掘削等の整備を進めています。また、災害時における水防活動や災害復旧の拠点として、河川防災ステーションを整備します。	前回 (R2)	H27	R16	60	約55%	整備計画における整備メニューの実施により、戦後最大規模の洪水を安全に流すことができる。	5.2	59	306	継続	事業の必要性・重要性に変化はなく、費用対効果等の投資効果も確保されているため	重点審議 (c) 推定事業費が顕著に増加する事業
			今回 (R4)	H27	R16	86	約55%	同上	4.0	89	352			
再評価後5年	再~2 鶴川直轄河川改修事業	平成21年2月に鶴川水系河川整備計画を策定し、戦後最大規模である平成4年8月の洪水を安全に流すことを目標に、堤防、河道の掘削等の整備を進めています。	前回 (H29)	H21	R14	201	約29%	整備計画における整備メニューの実施により、戦後最大規模の洪水を安全に流すことができる	1.1	168	189	継続	事業の必要性・重要性に変化はなく、費用対効果等の投資効果も確保されているため	
			今回 (R4)	H21	R14	164	約72%	同上	2.7	223	597			

※1 進捗率は、それぞれの全体事業費に対する進捗率を示す

- ◆重点審議案件の選定要件
- (a) 事業計画が顕著に変更された事業
 - (b) 推定便益が顕著に減少する事業
 - (c) 推定事業費が顕著に増加する事業
 - (d) 事業の進捗予定が顕著に遅れている事業
 - (e) その他の要因